

サマンサジャパンコミュニティ情報チャンネル

Samansa



社内交流誌 季刊サマンサ

2016. 12月号





CONTENTS

特集

2-5



特集・第23回 サマンサジャパン パフォーマンスコンテスト ～「売り物」を磨き続ける～

常に持ち続ける向上心！進み続けるサマンサジャパン！
サマンサスタッフが少し先の未来をお届けします！
「売り物を磨き続ける！」～受賞グループ紹介～
パフォーマンスコンテストを華やかに彩る！～ユニフォームファッションショー～

スタッフから聞いた ちょっといい話

6-7

なぜそこまでがんばれるのか!? ～仕事の原動力になるもの～

福山リハビリテーション病院

8-9

仕事への自信がやさしい心を作る！

宗像水光会総合病院

10-11

みんなの笑顔、それが私たちのサイトを作っています！

お客様の声

12-13

すべてのお客様に大満足を感じていただきたいから！

周南掃除に学ぶ

14

周南掃除に学ぶ会 in 岐山小学校

事務社員研修

15

サマンサジャパン事務社員研修

みらいジャパン

16-17

お客様に強く必要とされる会社！

海賊とよばれた男

12月10日(土) 公開



©2016「海賊とよばれた男」製作委員会
©百田尚樹／講談社

日本に勇気を与えた男

今、本社の玄関脇に大きなポスターが貼ってある。12月10日に封切の映画「海賊とよばれた男」のポスターだ。映画館で掲示されるB1サイズのもので、東宝のマーケティング会社から提供してもらった。

「海賊とよばれた男」の主人公岡岡鐵造は、出光興産の創業者出光佐三氏がモデルで、周南市(旧徳山市)は切っても切れない縁がある。そのため、周南でも映画を盛り立ててほしいということで、広告用素材の提供があったのだ。

戦後、GHQの命令で旧海軍燃料廠のタンクの底に残った油をさらうことになった時、最も苦労したのが徳山であった。現在、周南市総合スポーツセンターになっているその地下タンク群は12基もあり、直径88m、深さ11mの大きさだったという。

出光興産の最初の製油所は、タンクの廃油の回収で最も苦労した徳山の地に建設された。この徳山製油所(現徳山事業所)の用地の一部は、旧第三海軍燃料廠跡地の払い下げによって取得された。天然の良港に面した好立地のため、取得には大変な苦労があったという。昭和石油(現昭和シェル石油)との競合となり、地元の大勢は

石油精製の実績があった昭和石油に傾いていた。しかし、「戦争の教訓から、油は外資系ではなく民族系の会社で」という思いを持った人たちの働きもあり、出光興産に決まったのだ。「出光100年史」には、「七人の侍」と呼ばれた徳山市民有志の支援や有力者たちの援助で払い下げを受けることができた、その経緯が記されている。

そして、その7人の中の一人が、わが社の創業者小野祥亮である。出光佐三氏に「ベルの清掃」は先々必要な仕事になると勧められたのが、創業の切掛けとなった。さらに氏の計らいで、出光興産徳山製油所がわが社の最初のお客さまとなってくれた。それ故にわが社の創業は、徳山製油所が完成した昭和32年なのだ。

日本に勇気を与えた男出光佐三氏は、決して忘れてはならないわが社の大恩人の中の一人である。

平成28年 11月

代表取締役社長 守政和浩

Samans a Japan Hot News

サマンサスタッフが少し先の未来をお届けします！



繋いでいくことの大切さ
今年のテーマは「売り物」を磨き続ける。今回最優秀賞を受賞した鈴鹿営業所の発表は「続ける」ために「繋いでいく」ことに着目しました。
サマンサジャパンの売り物とはサービスです。サービスの主役は「人」、提供する人そのものが売り物であると言えます。
それは個人の業務に関するスキルアップであつたり、居心地の良い空間を提供するための笑顔や声であつたりします。けれど、それは個人が自分のためだけに努力すればそれでいいのでしょうか。



この疑問に答えをだしてくれたのがこの発表でした。
自分たちが磨いた売り物：経験や努力、時には失敗から学ぶこともあるでしょう。それらの学びを次に繋ぎ、少しでも前進すること、それが売り物を磨き「続ける」ということなのです。
お客様から頂いた言葉に心をひかれました。
「やろうと思ったこと、やりたいと思ったこと、それはやればできるのだと感じさせてくださいました」
経験を重ねることで見えてくる新しいもの、それに挑戦したいという想いを強く持つことで、実現することができるといふ勇気に気付かせてくださったお言葉でした。
サマンサジャパンには仲間がいます。そして、いつも見ていてくださるお客様がいます。自分のする努力は、自分はもちろん、周りと一緒に成長させていく力があることを、今年のパフォーマンスコンテストから知ることができました。

参加チーム一覧

一歩ずつ壁を超える医事業務

三河営業所・神戸営業所

S・S・C(サマンサ・セキュリティ・コンシェルジュ)リターンズ

～私たちの喜びはご利用者様からの「ありがとう」とともに～
神奈川営業所・長野オフィス

トータルコールインフォメーション

山口営業所・福岡支社・みらいジャパン

「終わりなき挑戦」

広島営業所・岡山営業所・サムタイム部

次世代につなぐ売り物

～私たちの成長がお客様の繁栄に繋がることを信じて～
鈴鹿営業所

【SQC発表】一期一会を大切に

～地域一番のサービスがあるお店作り～
サムタイム広島

【ファッションショー】

徳山営業所・岩国営業所
テクノサービス部・リフォーム



第1部

特集・第23回 サマンサジャパン パフォーマンスコンテスト ～「売り物」を磨き続ける～

平成28年10月14日、ホテルサンルート徳山にてサマンサジャパンパフォーマンスコンテストが開催されました。今年で23回目となる今年は5チームの発表に加え、11月に第5861回QCサークル山口地区東部ブロック大会への参加が決定しているサムタイム広島のSQC発表も行われました。

常に半歩先を目指して！
サマンサジャパンのパフォーマンスコンテストは常に「半歩先を行くサービス」のご提案をしてきました。「半歩」には大切な意味があります。
先進的なサービスとは、奇抜なサービスということではありません。斬新なアイデアでも実現できないものでは意味がないのです。
今回の開会挨拶で守政社長は言われました。
「今日のパフォーマンスで、お客様の繁栄のお手伝いをどういう形でやっていけるのかを、考える場、持ち帰る場にしてください」
これは、全社員、全スタッフに向けられた言葉です。パフォーマンスコンテストで発表される内容は、今日見たものを明日できるというものではありません。
なぜなら、これらのアイデア、サービスはこのサイトでもそのまま使えるわけではないからです。十のサイトがあれば、十の個性、環境があるのです。
それは例えば「料理の素材」のようなものではないでしょうか。同じ素材を使っても、調理の仕方、素材は



様々に形を変えます。
パフォーマンスコンテストを見て、持ち帰った素材はそれぞれの場所より進化したもの、成長させ、実現させることができます。
常に半歩、は少しずつであっても確実に前に進み、決して歩みを止めないサマンサジャパンの姿勢です。
その気持ち、今年のテーマである「売り物」を磨き続ける、という言葉に詰まっています。



常に持ち続ける向上心！
進み続けるサマンサジャパン！

パフォーマンスコンテストを 華やかに彩る! ～ユニフォームファッションショー～

「毎年楽しみにしています!」とお客様にも好評のユニフォームファッションショー。今年は軽快なリズムにのり、サービスの様子や接客をダンスで表現することに挑戦しました。

見た目だけでなく、機能的なサマンサのユニフォームを楽しんでいただけたことでしょう。



「売り物を磨き続ける!」 ～受賞グループ紹介～

※優秀賞2チームは発表順の早いチームから

『次世代につなぐ売り物』
～私たちの成長がお客様の繁栄に繋がることを信じて～
最優秀賞 鈴鹿営業所



『S・S・C (サマンサ・セキュリティ・コンシェルジュ)リターンズ』
～私たちの喜びはご利用者様からの「ありがとう」とともに～
優秀賞 神奈川営業所・長野オフィス



優秀賞

『終わりなき挑戦』
広島営業所・岡山営業所・
サムタイム部



今年のパフォーマンスコンテストもお客様、ご利用者様に喜んでいただけるサービスとは何かを考え、現場を知る社員、スタッフが作り上げた発表作品はいずれも素晴らしいものでした。接戦の中、選ばれた最優秀賞、優秀賞に輝いたチームを紹介します。



聞いた
スタッフから

ちよつと
いい話と

温かな原動力！

今回の取材は「なぜそんなに仕事をがんばれるのか」がテーマでした。ここまで、スタッフが周りの人たちと思いあつて仕事に臨んでいることがわかりました。そして、サイトスタッフの仲間には欠かすことのできないもう一つの大切な仲間がいます。それはサマンサジャパンの社員です。お客様とのコミュニケーションがとれていても、お客様にも協力していただくような提案をスタッフから直接お願いするのは難しい場合もあります。そういった時、スタッフが相談するのはサマンサジャパンの社員だと言えます。相談を受けた社員はお客様とスタッフの間に入り、よりよい環境作りに努めます。別の企業で働いたことのあるというスタッフがこんな話をしてくれました。

「その会社では、最初はチャホヤとしてくれていましたが、そのうち無理な仕事を押し付けられるようになり、職場の雰囲気も悪くなっていました。ここでは（サマンサの）社員さんがよく話を聞いてくれますし、私たちのために動いてくださっていることがわかります」また、他のスタッフからも社員とのエピソードを聞くことができました。「仕事ですから、楽しいことばかりではありません。つらいと思うこともあります。そんな時でも、社員の方が、何でも親身に話を聞いて、一緒に解決しようとしてくださいました」

会社という円で結ばれる縁

スタッフと社員は「サマンサジャパン」という一つの大きな輪の中にいます。同じ会社の仲間同志が信頼しあっているからこそ、お客様との信頼関係を築くこともできるのです。先ほど、つらい話も聞いてもらえ、と言ったスタッフの話には続きがありました。「（社員が）話を聞いてくださったたり、自分のために働きかけをしてくださる姿をみて、会社を守られているんだ、と感じました。そう思うと安心して、がんばれる！という気になります！」話せる環境はどのつながりにおいても必要なことなのだということがわ



かる言葉ではないでしょうか。社員とスタッフの信頼を感じさせる言葉がもう一つ。「（私たちがミスをすることで）石田さんや三宅さん（岡山営業所社員）に頭を下げさせるようなことはできません」一つの職場に関係するすべての人は大切な仲間。自分も誰かの力になりたいという温かい思いやりの気持ち、サマンサスタッフのイキイキとした原動力になっているのですね。



スタッフ

なぜそこまでがんばれるのか!?

仕事の原動力になるもの

所内会議 in 岡山営業所

所内会議は営業所ごとに多少の違いはありますが、ほぼ毎月1回、社員と各サイトのサイトマネージャーが参加して開催されます。岡山営業所の所内会議報告で聞くことができたスタッフの言葉は「なぜそこまでできるのか」と思わせるものでした

思いやりが力になる

所内会議で聞いたかった質問は端的に言えば二つ。「どうしてそんなに仕事をがんばれるのですか？」ということ。今回はサイトマネージャーの立場で感じたこと、気を付けていることを聞くことができました。多く出されたキーワードに「仲間のために」という言葉がありました。シフト制で稼働しているサイトは多く、その時に重要なのが引継ぎになります。次の人が気持ちよく仕事に入れるように、自分にできることをしっかりとやっておこうという思いが原動力になっていると言います。なるほどと思う反面、それだけ仲間を大切にで

きるのはなぜか、とさらに深い疑問が生まれてきました。それに対してスタッフから返ってきた言葉は「私も助けてもらうことがありました。だから私も仲間の役に立ちたい」体調が悪い時、家庭の事情でシフトに入れない時、助けてくれたのは仲間たちだったのです。「二人で無理を抱えていると、職場全体に無理が広がってしまいます。みんなが気軽に話し合える職場であれば仕事を続けていけると思います」人の思いやりを感じることや自分も誰かの役に立つことで、それぞれの存在意義が生まれる。それが楽しいと感じ、「無理」ではなく「がんばろう」という気持ちにさせていたのですね。



いつまでもこの新しさを守りたい！



お忙しい中、快く写真撮影に応じてくださった事務部部长 國廣進矢様。ありがとうございます！

新しい建物の悩み？！

新しい建物の清掃を担当するサイトには共通した目標ができます。「きれいな今の状態をずっと維持すること」
年月を経た建物には、清掃技術だけではカバーしきれないキズや汚れがあります。ある意味、その建物の歴史を物語る思い出と言えなくもありません。
ですが、新しい建物にはその言い訳は通用しません。新しいのだから汚れも少ないだろうし、仕事も楽なはず：そう思う人もいるかもしれません。ですが、実際には新しくきれいだからこそ、ほんの少しの汚れでもとても目立つてしまうのです。

福山リハビリテーション病院様の以前の建物の廊下は絨毯のような布製でしたが、現在は表面に光沢のある「床」になっています。清掃する側から見ても、今の床の方が埃や小さな糸くずのようなものでも発見しやすいのできれいになっているかの確認はしやすい



のです。ですが、それは言い換えればそういった目に見えにくい汚れが目につきやすくなるということです。
「前にも増して、床面の清掃には気を配るようになりました。しかも新しくきれいなので、これからどれだけこのきれいさを守ることができるか、ですね」
サマンサジャパンを信頼してお仕事を任せくださった病院様のために、そしてご利用者様に居心地の良い空間を提供できるように、日々、業務に励みます！



研修から学ぶのは自信！

病院様の移転、業務開始にあたり、新メンバーも加わりました。1か月の研修期間では、基本的な道具の使い方やサマンサジャパンスタッフとしての理念を学びます。
経験者と新人が混ざるサイトでは、どうしても個人のスキルに差があるものです。
その差が大きいと「どうして自分ではできないんだろう」という不安や焦りが生まれます。
経験という時間をいきなり埋めることはできませんが、研修時間をしっかりと取ることで、実務に入る前の不安を和らげ、自信をもって仕事に望むことができますようにになります。
福山リハビリテーション病院様においても、段階を追った研修が組まれました。

これまでの仕事をご存知の病院スタッフの方から見られても品質が下がったと思われないよう、指導する社員も教わるスタッフにも熱が入ります。
この日、仕事を終えた新人スタッフにお話を聞くことができました。
「最初はなれない道具や機械に戸惑うこともありましたが、研修もしっかり受けましたし、1か月がたつて少しずつ慣れてきたかな、と思います」
基本の仕事がしっかりできることで心に余裕ができます。大事な余裕です。業務をこなすことだけに必死になっている人にはないもの。それはサマンサジャパンが大切にしている笑顔であったり、明るい挨拶であったりします。周りを見て、人を思いやる気持ちも、心に余裕があればこそです。

以前本誌でも紹介した福山リハビリテーション病院様は10月に新病院に移転されました。柔らかな空気感はそのままだに、新築移転された福山リハビリテーション病院としてのスタートに合わせて、サマンサジャパンの清掃業務や夜間休日受付業務も引き続きお手伝いさせていただきます。

**福山リハビリテーション病院様
清掃サイト、岡山営業所、**

仕事への自信がやさしい心を作る！

いつまでもこの新しさを守りたい！

みんなの笑顔、それが私たちのサイトを作っています！



宗像水光会総合病院様清掃サイト、福岡営業所、

福岡県福津市、緑の自然と閑静な住宅がバランスよく並ぶその場所に宗像水光会総合病院があります。サマンサジャパンは今年の4月からこちらの病院での清掃業務がスタートしました。サイトマネージャーの2人にも楽しいお話をたくさん聞かせてもらいました。

はじめは、かわいい！？

今回お話をさせていただいたのはサイトマネージャーの椎葉智美さんと井浦絵美さんです。
お二人がサマンサジャパンでお仕事をするようになったきっかけは、求人募集のチラシだったそうです。

「これがお掃除のお仕事募集のチラシなの？と思うほど可愛いイラストにまず目をひかれました。清掃員、というどうしても年配の方が地味な服装でされているイメージがありませんね。でも、ここはなんだか若い人も多そうだし、制服もかわいいみたいだから、話を聞いてみようかな、と」
「お仕事が決まってユニフォームをいただいたとき、こんなにかわいい服で仕事ができるんだ！と思うと嬉しくてつい写真を撮って友達にも

見せびらかしてしまいました。いいでしょう？まるでカフェ店員さんみたいでしょ？って（笑）
実際に今でも「かわいい制服ですね」と声をかけられることもあるといいます。清潔感のある水色の背中には「SAMANSA」の赤い文字が映えています。
ところで、「かわいい！」で始まった制服のこのロゴですが仕事をするにつれ、少しずつ意味を持つようになってきました。

サマンサロゴを意識する！

清掃業務をする中で、病院スタッフ様やご利用者様からお声をかけていただくことがあります。多くは売店の場所や目的の科へのご案内なのですが、時には変わった質問もあるようです。

「このトイレはいつもきれいにお掃除がされてますよね。うちのお掃除の参考にしたいのだけど、こういう汚れはどうやってきれいにしているの？」
トイレがきれいですね、と言われることはありますが、こちらのご利用者様からはスタッフがトイレ掃除をしているのを見て、参考にしたいので教えてほしいと聞かれたそうです。

もちろん業務用の器材や洗剤と家庭用のものには違いがありますから、同じようにはいきませんが、スタッフの仕事がいい加減なものであったなら、このような質問は決してなかったことでしょう。
「ある先生（医師）からも、サマンサさんが使っている道具がとても使いやすそうだったので、似たようなものを探して買いました、と言われたことがあります」
これも、仕事の様子を病院様がよく見てくださっていることの証です。

こういったことが続き、スタッフは「見られている」ことを意識するようになったと言います。
「背中にあるロゴは、私たち自身が看板なんだ！という思いが強くなりました。いつ、どなたに見ていただいても大丈夫！と思える仕事をしていきたいです」

笑顔で話せる仲間たち

清掃に限らず、新しいサイトにはその仕事をするのはまったく初めて、という人も少なくありません。そのためサマンサジャパンでは仕事に入る前も、始まってからも研修時間を十分にとっています。それでも実際の業務では様々な不安や問題は発生するものです。業務の内容、道具の使い方や立ち居振る舞いといったことは研修でフォローできますが、難しいのは人間関係や一人ひとりの気持ちです。

宗像水光会総合病院様サイトでもサイトマネージャーの2人はスタッフ間のコミュニケーションを気にしていました。

「定期的にミーティング時間が取ればよいのですが、人数が多くなかなか難しいです」とはいえ、この日出会ったスタッフたちはみなさん明るく、楽しそうに仕事をしていました。何か秘訣が

総務部総務課課長 村上雅秀様にサマンサジャパンについてお話を伺いました。やさしく明るい笑顔でお話を聞かせてくださった村上様、お忙しい中ありがとうございます！



お話を聞かせていただいた総務部総務課課長 村上雅秀様

サマンサジャパンという会社を知ったのは現事務の小野さんが営業をされていた時、当院に來られたのがきっかけですね。その後季節のご挨拶などをいただいていた。今回清掃をお願いしたのは、院内で外部業者全体の見直しを行うことになりまして、サマンサジャパンさんにも声をかけさせていただきました。価格もさることながら、仕事の品質や親身に相談にのっていただいたことなどを考慮しての決定となりました。4月からお願いして半年と少し過ぎたところですが、最初のころ…1～2か月は正直まだまだコミュニケーションがうまくとれてないのかな？という不安もありました。そこで、月に一度のペースで清掃委員会を開かせていただくことにしました。半年を過ぎて、朝礼や仕事の様子を拝見していると、スタッフもよい意味で仕事に余裕が出てきたようで、今はいい笑顔を見せてくれますね。これからの会議は意見交換の場として定期的に続けていく予定です。サマンサジャパンさんには、パフォーマンスコンテストにもご招待いただいているのですが、清掃以外の業務についても興味深く拝見しました。安城更生病院さんや海南病院さんに視察にも行かせていただいて、複数業務を見て、当院でもコンシェルジュの導入を検討しています。九州といいますが、西日本ではまだ導入している病院は多くないのですが、これからの病院のかたちとして接遇の重要性を感じています。清掃業務から始まり、コンシェルジュなど…これからのサマンサジャパンさんとは末永く、幅広くお付き合いいただきたいと思っています。期待していますよ！



（左から）福岡営業所の菅さん、サイトマネージャーの井浦さんと椎葉さん



すべてのお客様に大満足をお届けしたい！

お客様からいただいた声～サマンサリフォーム編～

サマンサジャパンではご利用いただいているお客様(企業・個人)にアンケートを取り、サマンサの仕事に対する満足度やご意見をお聞かせいただいています。

サマンサに寄せられた嬉しいお言葉

サマンサジャパンがお客様にアンケートを行うのは、どのお客様にも大満足をお届けしたいからです。お客様の生の声をお聞きすることが、品質やスタッフの意識向上につながります。アンケートの最後にはお客様に自由に感想などを書いていただく欄があります。頂戴した沢山のコメントの中から、今回はサマンサリフォームに寄せられた嬉しいお言葉を紹介します。

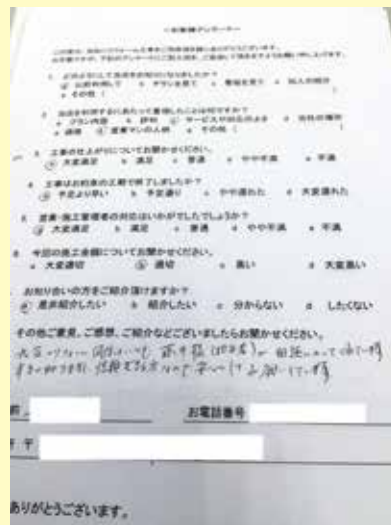
サマンサリフォームホームページでは施工事例やリフォームの流れ、イベント情報などを発信しています！



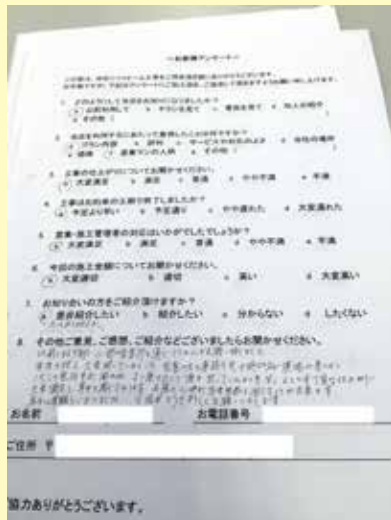
QRコードを読み取ってサイトを表示することもできます。

<http://www.samansa-reform.com>

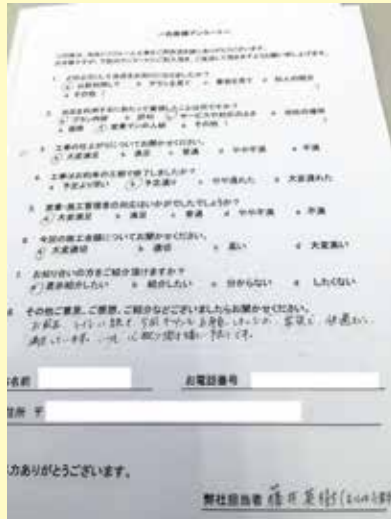
我が家のリフォーム関係はいつも藤井様担当者が相談のつてくれていました。本当に助かりますし、信頼できる方なので安心してお願いしています。



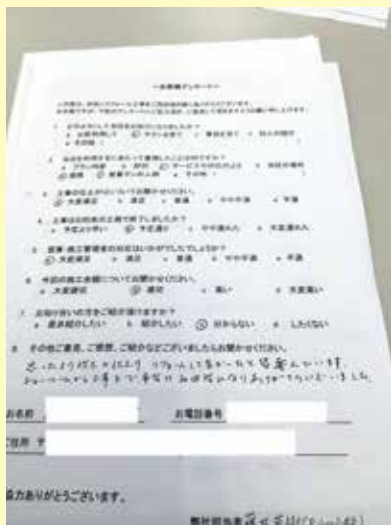
以前(約9年前)小郡の営業所を通し、リフォームをお願い致しました。(今回は)年末を控え大変困っていたところ、営業の方の連絡を受け施工の方が現場に来られ、こちらの意向もよく聞かれ、よい案を出して頂き、思っていたよりも早く、又、とても丁寧な仕上がりに大変満足し、幸せを感じています。おかげで心地よく年末年始を迎えることが出来ます。ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



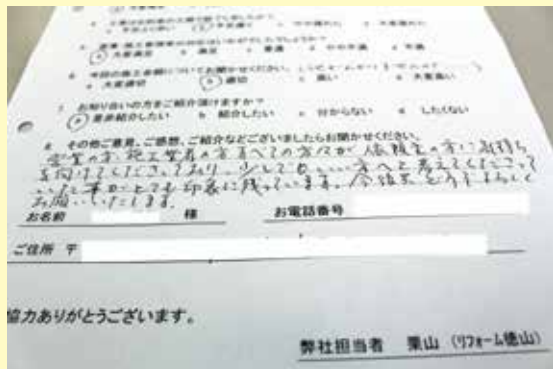
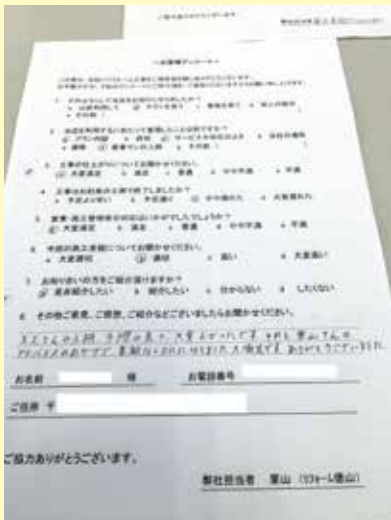
お風呂、トイレに続き、今回キッチンをお願いしましたが、家族で、快適さに満足しています。いつも心配り頂き嬉しい限りです。



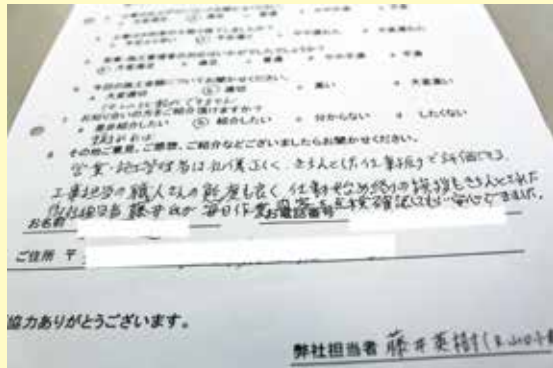
思ったより以上の仕上がりが、リフォームして良かったと皆、喜んでいました。ショールームから工事まで、本当にお世話になりました。ありがとうございます。



大工さんの人柄、手際の良さ、大変良かったです。それと、栗山さんのアドバイスのおかげで、素敵なLDKになりました。大満足です。ありがとうございました。



営業の方、施工業者の方すべての方々が依頼主の方に気持ちを向けてくださっており、少しでもいい方へと考えてくださっていた事がとても印象に残っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



営業・施工管理者は礼儀正しく、きちんとした仕事振りで評価できる。工事担当の職人さんの態度も良く、仕事の始め終わりの挨拶もきちんとされた。御社担当者藤井氏が毎日作業内容を点検確認してもらい、安心できました。

サマンサジャパン 事務社員研修

9月14日に本社で行われた事務社員研修は会長による理念教育に始まり、社長教育や礼儀マナー研修とともに新システムについてのミーティングが行われました。



**サマンサジャパンの
縁の下の力持ち！**

「お電話ありがとうございます！サマンサジャパン〇〇でございます！」

本社や営業所に電話を入れると、事務の方が爽やかな声で受けてくれます。

声だけでなく、来社されたお客様からも度々その接遇をお褒めいただきます。

すべての社員が気持ちよく、スムーズに業務をこなすために欠かせない事務社員のスキル磨きの一つに、事務社員研修があるのです。

この研修では仕事の意味、細かな所作振る舞いなどを学びます。定期的に開催され、業務に慣れて忘れてしまったことはないか、自分を見つめ直す機会にもなっています。

また、日々の業務の中で各地の事務社員同士が連絡や報告といったやり取りは欠かせません。同じ研修を受けることで普段は遠く離れているお互いを知ることが出来ます。普段は電話だけのやり取りであったとしても、相手の顔を思い浮かべることが出来るだけで、その絆は深まります。

サマンサジャパンで働く人々を広くサポートし、お客様との窓口になる事務社員の方々はまさに縁の下の力持ちですね。



素手に意味あり！ 目的は心を磨くこと！

周南掃除に学ぶ会 in 岐山小学校

10月22日、周南市立岐山小学校の校舎内トイレをお借りして、周南掃除に学ぶ会が開催されました。岐山小学校教職員の方々をはじめ、児童、PTA、地域の方々、そしてサマンサジャパンの社員や家族の参加がありました。



「一心不乱に取り組むことで磨かれる心！」

「今日磨くのは、トイレや壁だけではなくありません」

岐山小学校での掃除に学ぶ会開会式での校長先生のご挨拶はその言葉で始まりました。

「掃除に学ぶ」とは一番汚れる場所を素手で磨き、きれいにすることで「心」を磨くことが本当の目的なのです。

「掃除をする前と、終わった後とは、きつと何か感じるものが違うはずですよ。一緒に心を磨いて行きましょう」

そうして始まったトイレ掃除ですが、初めて参加するという方も多く、スポンジを握る手は恐る恐る…といった感じです。

今回は岐山小学校校舎内の2階、3階の男女トイレの計4カ所。進行度に合わせて写真撮影などに回ってみると、時間が経つにつれ参加者の動きや目付きの真剣さに変化が見られました。

この日参加してくれた小学生たちは低学年から高学年まで大人たち以上に頑張ってくれました。

掃除終了後に話を聞いてみると、「最初はちょっと（素手でさわることに）迷いがあつたけど、最初の一回がいけちゃえば、後は汚れをきれいに落とすことの方に夢中になってしまいました！」



「どうしたらこの汚れが落ちるのかな、と考えて磨きました」

「友達にもきれいになったトイレを使ってもらえるのが楽しみです！」

みんなが心を込めて黙々と磨いた後の達成感は磨かれた「心」の証ですね。



第1部の司会を務められ藤田さん。
お疲れ様でした!



第2部の司会は江頭さん。
お疲れ様でした!



培われた知識と経験は会社の宝!表彰を受けた設備チームの方々!



一丸となって目標の達成を誓った社員代表の田村さん!

されるか、になるのです。
そこには、モノを作って売るといふ物質的なやりとりだけではなく、人と人とのつながりが大きく影響していきます。小野社長がその一例として、病院内の業務について話してくださいました。
「入院して沈んでいたが、毎日会ったお掃除のスタッフさんの明るい声や笑顔に生きる気力を感じることができた、と言われたことがあります。ご利用者様に喜んでいただけることで、お客様にも喜んでいただくことができます。この感動や喜びが、お客様に必要と思っていただけの仕事なのです」
前述した個人の力を具体的に表した例です。一人の努力は、その人はもちろん、会社もお客様も豊かにすることになるのです。



参加者が毎年楽しみにしているふれあい会。
お馴染みの顔に新しい顔、みんなが笑顔で和やかな時間を過ごしました。
仕事の苦勞も楽しさも知っている仲間だからこそその笑顔だと感じさせてくれる素敵な会でした。
一年を振り返り、次の一年へ!
表彰式では、壇上に上がった人だけでなく、同じ職場で働く仲間たちの顔も誇らしく、お互いをねぎらい、称える温かさにあふれていました。



みらいジャパン 事業発展計画発表会 & ふれあい会

9月9日(金)シーモールパレス下関にて、第8期となるみらいジャパンの事業発展計画が開催されました。さらなる飛躍を目指して、一人ひとりにできること、一丸となることの大切さを再確認する時間となりました。

会社のできるごと、個人のできるごと
事業発展計画発表会では、小野会長、小野社長からそれぞれに興味深く心に残る言葉がいくつも話されました。共通して語られたのは、企業がすべき努力と個人ができる努力についてです。
日本の2015年の経済成長率は現在の世界順位では100位を下回り、経済円熟期を迎えたとも言われています。国民総生産(GDP)の約6割を占めるのは個人消費ですが、このGDPを上げるには個人所得がある必要があります。
企業がすべき努力とは、まさにこの個人所得を上げることになります。しかし、ここで忘れることができないのは、企業とは、そこで働く一人ひとりの個人によって作られているということです。
「同じ会社で働く人たちにより豊かさを感じてもらえるよう、会社も努力します。だからこそ、会社からみなさんにお願ひすることがあります。できないこととは言いません。できることがあるから、**「つの力は小さくても…」**
小野社長が教えてくださったのは「事業」の型についてでした。
「事業とは大きく二つの型に分かれます。一つは見込み型、もう一つは受注型。そして私たちみらいジャパンは受注型の企業です」
受注型にとって重要なのは何より「お客様に選んでいただくこと」
同業種の中でお客様が選ばれるのは金額だけではありません。お客様にとって、その会社がどれだけ必要と



お客様に強く必要とされる会社 to!



<編集後記>

紅葉を楽しむ季節になりました。赤や黄色に色づく葉をみていて、ふと、「美しい紅葉」はどうして生まれるのだろうと考えました。

調べてみると、紅葉が色づく条件には「葉が日光を十分に受けている」「昼夜の寒暖の差が激しい」、夏の「気温が高い」「雨量が多い」といったことがあるようです。日光は十分に受けなくてはならない、けれど雨量も必要、夏の暑さや寒暖差にも耐えなければならぬ…

もみじやイチョウはしゃべりませんが、そんな過酷な条件をクリアして秋に美しく色づいているのですね。人はしゃべることが出来る分、不満を口にしたり、甘えた環境に自分を置きがちです。

物も言わず人の目を楽しませ、癒してくれる植物のように、強くたくましく、やさしさをもっていたいものです。

Samansa Japan
サマンサジャパン株式会社

本社 〒745-0845 周南市河東町2-36

Phone(0834)32-1188 FAX(0834)31-5956

福岡・別府・山口・徳山・岩国・広島・福山・岡山・松山・神戸・鈴鹿・三河・長野・神奈川・サマンサリフォーム・テクノサービス部
<http://www.samansa.co.jp> Email:info@samansa.co.jp

感動創造企業
株式会社 **みらいジャパン**

〒750-0066 下関市東大和町2丁目13番1号

TEL(083)267-6161 FAX(083)267-6163 <http://www.mirai-japan.jp/>